

かめやま 見てある記



二宮金次郎巡り

広報サポーター 松村 正さん



歴史博物館前



JR井田川駅前



加太小学校前

昔の偉人で、本を手に、薪を背負う人は誰でしょうか?「二宮金次郎」を知る人は多いと思います。

この二宮金次郎の石像が、図書館前に建っていました。現在は、隣接する歴史博物館前の敷地に移設され、訪れる人の目に留まっています。移設先の木陰は、心地よい風が通り抜ける静かな場所です。

そして、市内ではほかにも2か所で、金次郎像を見ることができます。

一つは、JR井田川駅を出て南西方向に位置する旧井田川小学校跡地です。そこは、人や車が行き交う場所で、車窓から金次郎像を眺めていく人も見られます。

もう一つは加太小学校で、玄関口の岩石庭園の中に建てられています。登下校時には、子どもたちが元気に挨拶する声が聞こえる場所です。

そこで、二宮金次郎について調べてみました。

天明7(1787)年7月、今の神奈川県小田原市の農家に生まれ、早くして両親と死に別れると、貧しい生活が続きました。しかし、金次郎はその状況にくじけず、昼間は災害で埋まった田畑を開墾し、山で集めた薪を町まで売りに行き、夜はわらじを作って日々の生計を立てました。

「遅寝早起の生活」・「忍耐強い精神」です。

また、金次郎は、父親から学問の大切さを教わりました。父の教えから、いつも本を手放さずに読み、自分が理解するまで読み返したと言われていました。

のちに、金次郎は、誠実な人柄から多くの人に信頼される大人に成長し、農業改革や藩の財政再建に尽力した偉人として現代でも知られています。

「儉約・勤勉」な金次郎の姿勢は、今の時代においても、見習うべき大切なことだと思います。

ハロキッズ

このコーナーでは、元気な亀山っ子の写真を募集しています。掲載を希望する人は、広報グループ (☎84-5021) へご連絡ください。



城 歩志 くん
平成30年7月生まれ

いつも笑顔をありがとう!



安藤 笑里 ちゃん
空之助 くん(左) 令和元年10月生まれ
笑里 ちゃん(右) 平成28年8月生まれ

これからも2人なかよく大きくなってね!